

6年 総合的な学習「100年後に伝えよう！プロジェクト」学習活動案

～わたしたちは未来へのメッセンジャー～

島根県加茂町立加茂小学校6年生

指導 未来教育デザイナー 鈴木敏恵

1. プロジェクト学習のテーマ：

100年先にも伝えたいふるさとのよさを見つけ、今の人に伝えよう。

2. 概要

ふるさと加茂をもっとよくしようという願いのもとに、ふるさとのよさを再発見し、それをPRする活動を行う。数年後の広域合併を控え、地域のよさを再発見し、後世に残す活動に取り組むことで、郷土に対する愛着と誇りを育てていきたい。100年先にも伝えたいふるさとの魅力を自分達の力で発見し、伝えていくという「知の伝承」を切り口に、地域に取材し、地域社会に提言していく学習を展開する。

単元のねらい

- 情報収集能力、企画表現力
- 相手の思いをイメージする力 コミュニケーション力
- ふるさとの本当のよさを見つける力

具体目標（第1～3次）

- 自分なりの思いや願いを大切にテーマを決めることができる。
- 活動の見通しを持ち、振り返りながら活動することができる。
- いろいろな人に取材やインタビューをして、活動したいことを説明したり、相手の人の考えを聞いたりできる。

具体目標（第4～7次）

- 必要な情報を集めたり、人の心を動かすために工夫して表現することができる。
- いろいろな人のアドバイスや評価を生かして、自分で活動を振り返りながら、活動することができる。
- 人との交流を通じて、ふるさとに対する人々の思いを感じ取ることができる。

3. ゴール『100年先にも残したい「加茂の魅力集～100年後の加茂のみなさんへ～」を作る。』

・テレビやHP等でプレゼンし、社会からの評価をもらう

○よさが守られていることを知り、もっとよさが増すようなアイデアを提案する。

○ただ単に伝えるのではなく、自分達のできることを考えて、実践したことも含めて提案してもいい。

○よさではない、問題だと思うことも、こうしたらよくなるという提案もOK。

4. 対象 加茂小学校6年生（2学級62名）

5. 期間 平成14年5月～平成15年12月

6. 活動の流れ(全65時間)

《大まかな日程》

第1次 テーマに関する情報収集(15)

6月～7月、夏休み

- 加茂町の魅力をいろいろな人にインタビューする。
- 加茂町の魅力は何かを自分で考える。
- 自分なりのテーマを考える。
- テーマに関する情報を集める。

第2次 テーマやゴールの設定(5)

9/10～ 9/13

- 具体的なテーマを考える。
- テーマによってグループを決め、具体的なゴールを決める。

第3次 計画を立てる(8)

9/17～ 10/11

- グループごとに、ゴールに沿った計画を立てる。
- 新聞記者の人に取材のアドバイスをもらう。

○計画を振り返り、よりよいものにする。★本時

第4次 調査や情報収集・制作(12)

10/17～11/1

- 収集した情報やこれまでの取り組みを発表する。
- 中間発表会を受けて計画を修正する。
- 収集した情報をもとに「加茂の魅力集」を製作する。
- 人の心を動かすために伝える内容や方法を工夫する。
- 調査や情報収集に関わってもらった地域の人や職員から評価をもらう。

第5次 プレゼンテーション(15)

11/5～11/26

- 自分達のグループの取り組みを振り返り、まとめ、発表する。ラメール発表会、KKM 放映? HP など
- 今の加茂町に住んでいる人に取り組みの評価をもらう。

★ラメール発表会16日

※球技大会29日

第6次 凝縮ポートフォリオ(5)

12/2～12/11

- これまでの活動を振り返り、凝縮ポートフォリオにまとめる。

第7次 成長エントリー(5)

12/12～12/18

- 凝縮ポートフォリオの中から、自分の成長を見つけ、まとめる。